

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

該当する

該当しない

2. 別途工事

建築工事

電気設備工事

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用となるため、仮囲い等を設置し、事故の無いよう十分注意してください。

③ 工事期間中は、周辺地域、児童、職員及び第三者の安全に細心の注意を払い、危険の無いよう対策を講じてください。構内管理については学校管理者との協議、調整を十分に行ってください。

④ 工事車両の出入り口と児童、学校関係者の出入り口が重複するため、大型車等の出入りには必要に応じて交通誘導員を配置し、安全管理に努めてください。

⑤ 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

⑥ 騒音・粉塵が発生する作業は、学校管理者と事前協議が必要です。

⑦ 解体・撤去物以外のものに損傷を与えないよう対策を講じてください。

⑧ この工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

⑨ 実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに、速やかに承認図、施工計画書等の承諾を受けてください。

⑩ 別途工事施工業者と調整が必要です。

⑪ 現場着手は学校管理者と協議の上、着手としてください。

⑫ 夏休み期間は（7/21～8/24）です。

福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事

| 図 面 リ ス ト | | |
|-----------|---------------|-------------|
| 図 番 | 図 面 名 称 | 縮 尺 |
| 1 / 4 | 機械設備工事仕様書No.1 | N. S |
| 2 / 4 | 機械設備工事仕様書No.2 | N. S |
| 3 / 4 | 工事区分表 | N. S |
| 4 / 4 | 配置図・平面図 | 1:1000、1:30 |
| | | |
| | | |

|  福山市教育委員会施設課 | | | | |
|---|--------|------|----|----|
| 課員 | 施設担当次長 | 課長補佐 | 課長 | 部長 |

福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事

2 工事場所 福山市神村町3369番地

3 用途地域 第一種住居地域

4 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし

5 工事種別 ・ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ○ 改修

6 敷地面積

7 建物概要

1) 構造

2) 面積 建築面積 _____
延べ面積 33㎡

| 概要 | |
|----|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

3) 附属施設

8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (7) 項

9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 (小学校)

※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。

※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。

※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

II 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

| 工 事 種 目 | 工 事 種 目 |
|--------------|------------|
| 1. 給排水衛生設備工事 | 2. 空調設備工事 |
| ① 衛生器具設備工事 | 1 空調設備工事 |
| ② 給水設備工事 | 2 換気設備工事 |
| ③ 排水設備工事 | 3 排煙設備工事 |
| ④ 給湯設備工事 | 4 自動制御設備工事 |
| 5 消火設備工事 | |
| 6 厨房機器設備工事 | |
| 7 ガス設備工事 | |
| 8 浄化槽設備工事 | |

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

| | |
|---------|--|
| 給水方式 | ・ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ・ 受水槽方式 |
| 排水方式 | ○ 自然流下 ・ ポンプ排水 (・ 汚物 ・ 水 ・ 雑排水) |
| 排水先 | 汚水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 雑排水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途樹 |
| 給湯設備 | 方式 (・ 局所式 ・ 中央式) 熱源 (・ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ 木垂油) ・ 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 粉末消火 ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡散水 ・ 消火器 ・ フード等用簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火 |
| ガス設備 | ・ 都市ガス種別13A (4.5M/JN) ・ 液化石油ガス |
| 浄化槽 | ・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理(既設) |
| 空調調和方式等 | ・ 空調調和 (・ 中央ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ・ パッケージ方式) ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ・ () |
| 空気調和設備 | ・ () |
| 主要熱源機器 | ・ 鋼製ボイラー ・ 鋼鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ・ チリングユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 通心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 直だし吸収冷凍水機 ・ 小形吸収冷凍水機ユニット ・ コージェネレーション装置 ・ 水蓄熱ユニット ・ パッケージ形空調調和機 ・ ガスエンジン式パッケージ形空調調和機 |
| 換気設備 | ・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気 全熱交換器 |
| 排煙設備 | ・ 機械排煙 (・ 有り ・ 無し) ・ 適用法則 (・ 建基法 ・ 消防法) |
| 自動制御設備 | ・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式) ・ 中央監視制御装置 |

IV 機械設備工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、同官庁営繕部監修環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1)官庁手続き
受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)

(2)地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。

(3)疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

2 特記仕様
(1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2)特記事項は※および○印のついたものを適用する。
3 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)
・ 引渡し後点検(第1次点検) 引渡し後の概ね1年後
・ 引渡し後点検(第2次点検) 引渡し後の概ね2年後

| 章 項 目 | 特 記 事 項 |
|-------------|--|
| ① 適用基準等 | ・ 公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅住宅総合整備課課修(令和元年版) ○ 建築基準法、消防法、その他関係法令 ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設課・住宅局建築指導課監修 ○ 建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達 受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。 ・ 適用する。 ・ 適用しない ・ 適用する。 ・ 適用しない |
| ② 監理(主任)技術者 | |
| 3 電気保安技術者 | |
| 4 技能士 | |
| ⑤ 施工管理 | 受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。 ※ 施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。) 技術者台帳(施工体制台帳に添付) 監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。 ※ 施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。) 工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。) 形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。 工事に使用する機器および材料は、アスベストを含有しないものとする。 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。 ・ 引渡しを要するもの () ・ 現場において再利用するもの () ※ 再資源化を図るもの ・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材 ・ コンクリート及び鉄からなる建設資材 |
| ⑥ 機器材料等 | ※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。)、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。)その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。 ※ 建設副産物情報交換システム (COBRIS) (財)日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。 |

| 工 事 別 | 適 用 種 別 | 工 事 別 | 適 用 種 別 |
|-------|---------|-----------|-----------|
| ・ 配 管 | 配管施工 | ・ 冷凍機、空調機 | 冷凍空調和機器施工 |
| ・ 保 温 | 熱絶縁施工 | ・ 風通、換気 | 建築板金施工 |

⑦ 発生材の処理

・ 引渡しを要するもの ()
・ 現場において再利用するもの ()
※ 再資源化を図るもの
・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材
・ コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。)、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。)その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。
※ 建設副産物情報交換システム (COBRIS) (財)日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

| 施工計画時 | | 工事完了時 | |
|-------|-------------|-------------|--|
| 搬入 | 再生資源利用計画書 | 再生資源利用実施書 | |
| 搬出 | 再生資源利用促進計画書 | 再生資源利用促進実施書 | |

※本工事で発生する建設副産物のうち、広島県内の最終処分場へ搬入する建設副産物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。
なお、本工事は広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。
建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)-建築設備編」によるほか特記がない場合は、以下による。

| 分類 | 規格 | 撮影枚数 | 提出部数 |
|-----|-----------|--------------------|------|
| 着手前 | L版程度(カラー) | 必要に応じた数 | 1 |
| 工事中 | L版程度(カラー) | 必要に応じた数 | 1 |
| 完成時 | L版程度(カラー) | 各 室 4 面 外 景 4 面 | 1 |

建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。
⑧ 各種写真は、写真帳(A4版)にて工事完成時に提出する。
○ 原版等の提出 する (・ 完成時のみ ・ 全て) ○ しない
○ 提出の方法及び形式は、監督員の指示による。
速やかに次の図書を提出する。
竣工図 (・ A3版2つ折りにして製本) 部
○ 完成図 ○ 竣工図
○ 保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)
・ 竣工図電子データ(施工含む)一式 (「竣工図電子データ作成要領」による。)
○ CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)
施工範囲 「工事区分表」による。
※ 契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な合点合付を定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

11 足場
建築工事等に伴う足場及び安全囲いは、無償にて使用できる。
・ 本工事で設置する。
・ 内部足場 (・ 単管足場 ・ 枠組足場)
・ 外部足場 (・ 枠組足場 ・ 単管足場)
※ 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用設置方式により行う。
・ 同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
・ 本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。
※ 受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。
登録内容については、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

| 請求金額 | 工事受注時 | 登録内容の変更時 | 工事完成時 |
|---------|----------|------------|------------|
| 500万円以上 | 契約後10日以内 | 変更契約後10日以内 | 工事完成後10日以内 |

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請求代金のみ変更の場合、登録不要)
※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)
本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。
本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。
運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。
・ 発注者指定型
共通設備として情報共有システムの利用料を見込んでいる。
受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。
・ 受注者希望型(契約時の請求金額が500万円以上のものに限り)
工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。
本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。
その場合の請求金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通設備費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。
下記項目の測定を行ない監督員に提出する(部)
・ 温度 ・ 湿度 ・ 風量 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃
・ 飲料水(雑用水)の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度
測定箇所等は、監督員の指示による。

12 施工中の安全確保

13 工事実績情報システム(CORINS)への登録

14 情報共有システム

15 測定表

16 説明板
監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。
標準仕様書によるほか下記による。
・ 運転ブロック図に適合するものとする。
・ ボイラー及び冷水温水機等の附属壁の地動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記によるインバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記による
・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装面は鋼製又は鉄製・コンクリート製)
排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要
工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にないしは補修する。
ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 (SUS304) 又は溶融亜鉛めっき仕上げとする。
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画書及び共同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは()とする。
標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。
イ) ポリステレンフォーム-給水管配管、排水配管の多湿場所
ロ) グラスウール -----給水管配管、給湯配管、ダクト類、冷水水管等
ハ) ロックウール -----排気ダクト、排煙ダクト

17 電線類

18 機器附属の制御盤

19 放射線手

20 埋設表示

21 はつり工事

22 補修など

23 支持金物・固定金具

24 耐震施工

25 保温材

26 鋼管類の地中埋設
ベトログラム系防食テープ (1/2重ね、1回巻き) + プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻き)
ブチルゴム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻き)
熱収縮材

27 鋼管類の地中埋設
防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 1901 0.4n/n) 1/2重ね、2回巻

28 塗装

29 スリーブ
外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) とする。
(柱及び梁以外の箇所等、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。)
図面に記載されている数値以上とする。
○ 電気容量 " 以下とする。

30 防火区画の貫通処理
防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。
・ ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷水水管配管 ・ 冷却水管配管 ・ 油管
非破壊検査の適用 ※ 無し
・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)
判定基準 ()
31 溶接配管の検査
非破壊検査の適用 ※ 無し
・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)
判定基準 ()
32 機器性能
電気容量 " 以下とする。

33 溶接配管の検査
非破壊検査の適用 ※ 無し
・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)
判定基準 ()
34 化学物質の測定
・ 測定対象化学物質 () ・ 測定方法 ()
・ 測定対象室 () ・ 測定箇所 ()
事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)
工事着手に先立ち、設計図面 (A3版縮小) 製本を提出する。 部

35 施工調査

36 その他

仮設
① 工事現場仮囲い ○ ナイロンロープ張り ・ 木製仮囲い ・ 鋼製仮囲い ・ しない
② 受注者事務所等 ・ 敷地内に建てることのできる。
③ 工事用水 構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ○ 無償で利用できる ・ 利用できない (面メーター設置等)
④ 工事用電力 構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ○ 無償で利用できる ・ 利用できない (面メーター設置等)
⑤ 引渡しまでの光熱水費 ・ 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・ 別途
・ 本引込みより引渡しまでの使用料金 ※ 受注者負担 ・ 別途

衛生
① 衛生陶器附属品 ・ 和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は緩衝材塗装加工とする。
・ 図示陶器品番 JIS記号 ○ 図示陶器品番 TOTO記号 (同等品以上)
② 大便器 ○ フラッシュバルブ ・ ロータンク
③ 小便器 ○ フラッシュバルブ ・ 自動洗浄 (個別・集電) ・
④ 大便器洗浄弁 ○ パキュームブレーカー付
⑤ 洗浄用タンク ・ 陶器製 ・ 防露形陶器製 ・ 合成樹脂製 ・ 防露形合成樹脂製
⑥ 便座 ○ 普通便座 (・ 蓋有り ・ 蓋無し) ・ 温水洗浄便座 ・ 暖房便座
⑦ 化粧鏡 ・ 陶器製 ・ 金属製
⑧ 化粧鏡 ○ 化粧鏡 ・ 耐食鏡 ・ 盗難防止形
⑨ 和風便器耐火カバー ・ 設ける (ピットは除く) ・ 設けない
⑩ 手洗器 止水栓付
⑪ 洗面器 止水栓付
⑫ 紙巻器 竣工時ペーパーを設置する。
(・ ワンタッチ式 ・ ワンハンドカット式)
・ 台所流し用水栓は、泡沫式とする。
竣工時水セッケンを補充する。
・ 陶器形 壁付形
⑬ 水栓 ○ 水栓
⑭ セッケン入れ (水セッケン共)
⑮ セッケン受け ・ 埋込形 ・ 壁付形

給水
① (屋内)
② 給水方式
・ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ○ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (○ H1VP ・ VP)
・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
・ ポリエチレン管 (JIS K 6762、JWWA K 144)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
3 井
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製円筒形
・ ベローズ形単式 ・ ベローズ形複式
・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)
・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)
・ エポキシ樹脂コーティング ・ 亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
8 橋水及び圧給水ポンプ
・ φ × /min × m × kW × 台
・ 標準 型 ・ 防振 型

給水
① (屋外)
11 管
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (○ H1VP ・ VP)
(図示SOA未満)
・ ポリエチレン管 (図示SOA未満) (JIS K 6762、JWWA K 144)
・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787)
・ ポリブテン管 (JIS K 6778、JIS K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
12 弁
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
13 弁機
・ 市規格品 ・ VC形 ・ 市販品
14 量水器
・ 買入 ・ 借用
15 量水器
・ 水道規格形状 ・ MC形
16 埋設深さ
・ 300mm以上(車両道路以外) ・ 600mm以上(車両道路) ・ 凍結深度(400mm)以上
17 埋設導入部配管
・ 標準図による。
・ 変位を吸収できるようにスリクションとする。
18 隔測メーター
・ リモート型 ・ 流量計 台
19 その他
鋼管の接合は管端コア付継手等を使用する。
給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。
水圧試験は配管途中、隠べり埋戻し前又は配管完了後の被覆施工前、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。
・ 配管工事に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。
・ 飲料水以外の給水管は、誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。

| | |
|--------------------------|-----|
| 福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事 | 1/4 |
| 機械設備工事特記仕様書 No. 1 | |
| 2025年 5月 | |
| 福山市教育委員会施設課 | |

| | | | | | | | | |
|------|-----------------|--|------|--------------|---|--------|------------|---|
| 排水設備 | ① 管 (第1樹まで) | <ul style="list-style-type: none"> 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) 排水用鉛管 (SHASE-S203) コーティング鋼管 結露防止層付塩化ビニル管 耐火二層管 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP | ガス設備 | 1 種別 | <ul style="list-style-type: none"> 都市ガス 液化石油ガス | 自動制御設備 | 1 中央監視制御装置 | <ul style="list-style-type: none"> 有り (構成機能図は図示による) 無し |
| | ② 通気管 | <ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) 耐火二層管 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 | | 2 管 | <ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) 塩化ビニル被覆鋼管 鋼管継手 (垂鉛メッキ) PLS継手同等品以上 溶接継手 | | 2 電源装置 | <ul style="list-style-type: none"> 要 (・本工事 ・別途工事) 不要 |
| | 3 満水試験継手 | 3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。 | | 3 継手 | <ul style="list-style-type: none"> () kg () 本立 無 | | 3 計装工事の配線 | <ul style="list-style-type: none"> 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 |
| | 4 ビット内配管保温 (屋外) | <ul style="list-style-type: none"> 施工する 施工しない | | 4 プロパンガス集合装置 | <ul style="list-style-type: none"> バルク貯槽 () kg 壁型 横型 | | | |
| | 5 方式 | <ul style="list-style-type: none"> 自然排水 ポンプ排水 | | 5 機器等 | <ul style="list-style-type: none"> 別図による | | | |
| | 6 管 | <ul style="list-style-type: none"> 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (VP ※ VU) | | 6 遮断装置等 | <ul style="list-style-type: none"> 遮断弁 ガス漏れ警報器 | | | |
| | 7 インバート樹 | <ul style="list-style-type: none"> SA, AB形 SC形 小口径 | | 7 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 取付は (・本工事 ・別途工事) とする。 配線接続は (・本工事 ・別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻し又は、配管完了後監督員立会いの上試験を行う。 | | | |
| | 8 インバート樹用蓋 | <ul style="list-style-type: none"> 塩ビ製 鋳鉄製 (MHA・MHB・小口径防護ハット) | | | | | | |
| | 9 排水樹 | <ul style="list-style-type: none"> RA, RB形 SC型 小口径 | | | | | | |
| | 10 排水樹用蓋 | <ul style="list-style-type: none"> 塩ビ製 鋳鉄製 (MHA・MHB・小口径防護ハット) グレーチング 鉄板製 φ 6m/m | | | | | | |
| | 11 埋設深さ | <ul style="list-style-type: none"> 300m/m以上 (車両道路以外) 600m/m以上 (車両道路) 勾配図による。 | | | | | | |
| | 12 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会いの上、通水試験を行う。 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会いの上満水試験を行う。 | | | | | | |

| | | |
|------|--------|---|
| 給湯設備 | 1 方式 | <ul style="list-style-type: none"> 単管式 復管式 |
| | 2 管 | <ul style="list-style-type: none"> 鋼管 (JIS H 3300) (Mタイプ・Lタイプ) 被覆鋼管 (呼び径20までとする) 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 架構ポリエチレン管 ポリブチン管 |
| | 3 弁 | <ul style="list-style-type: none"> JIS 10K JIS 5K |
| | 4 熱源 | <ul style="list-style-type: none"> ボイラー () 給湯器、湯沸器 () 電気温水器 () ヒートポンプ式給湯器 () |
| | 5 膨張水槽 | <ul style="list-style-type: none"> ステンレス製 () 鋼板製 () |
| | 6 その他 | <ul style="list-style-type: none"> コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。 |

| | | |
|------|-------------|--|
| 消火設備 | 1 管 | <ul style="list-style-type: none"> 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS <p>※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。</p> |
| | 2 弁 | <ul style="list-style-type: none"> JIS 10K |
| | 3 消火栓箱 | <ul style="list-style-type: none"> 総合形 (HB-1A・HB-1B) 単独形 (HB-2A・HB-2B) 総合形 (HB-4A・HB-4B) 消火器併設形 (HB-1AS・HB-1BS) |
| | 4 水源用水槽 | <ul style="list-style-type: none"> ステンレス製 () 鋼板製 () |
| | 5 消火ポンプユニット | <ul style="list-style-type: none"> 認定型 φ x /min x m kW x 1台 |
| | 6 ポンプ基礎 | <ul style="list-style-type: none"> 標準型 防振型 |
| | 7 消火器 | <ul style="list-style-type: none"> ()型 ()本 収納箱共 置台共 壁掛フック共 |
| | 8 保温 | <ul style="list-style-type: none"> イ) 呼水タンクの保温 施工しない 施工する ロ) 充水タンクの保温 施工しない 施工する ハ) 消火配管の保温は次による。 屋内消火栓用 施工しない 施工する スプリンクラー用 施工しない 施工する 連結送水用 施工しない 施工する 連結散水用 施工しない 施工する |
| | 9 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。 |

| | | |
|-------|---------|---|
| 浄化槽設備 | 1 処理種別 | <ul style="list-style-type: none"> 小規模合併処理 合併処理 単独処理槽 200人槽・50人槽・15人槽 |
| | 2 構造 | <ul style="list-style-type: none"> 放流水質 (BOD mg/以下 COD mg/以下 T-N mg/以下 T-P mg/以下) 分離接触ばっ気方式 長時間ばっ気方式 分離ばっ気方式 その他 () |
| | 3 形式・容量 | <ul style="list-style-type: none"> ユニット型 () 人槽 /日 現場施工型 () 人槽 /日 |
| | 4 排水方式 | <ul style="list-style-type: none"> 自然排水 ポンプ排水 () |
| | 5 マンホール | <ul style="list-style-type: none"> MHA型 MHB型 製造者の規格品 |
| | 6 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。 |

| 空気設備 | 1 設計条件 | <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">季節</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0%[※]</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0%[※]</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p> | 季節 | 屋外 | | 屋内 | | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 夏季 | 35.0 °C | 67.1 % | 28.0 °C | 50.0% [※] | 冬季 | 0.1 °C | 71.5 % | 19.0 °C | 40.0% [※] |
|-------------|--|---|---------|---------|--------------------|----|--|---------|---------|---------|---------|----|---------|--------|---------|--------------------|----|--------|--------|---------|--------------------|
| | 季節 | 屋外 | | 屋内 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | 温度 (DB) | 湿度 (RH) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 夏季 | 35.0 °C | 67.1 % | 28.0 °C | 50.0% [※] | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 冬季 | 0.1 °C | 71.5 % | 19.0 °C | 40.0% [※] | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 冷水・温水・冷却水 | <ul style="list-style-type: none"> 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 膨張・給給水管 | <ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 ブライン管 | <ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 給水及び排水管 | <ul style="list-style-type: none"> 給、排水設備の項による。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 ファンコイルユニット | <ul style="list-style-type: none"> 床置形 天吊形 (露出) 隠ぺい形 カセット形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 フレキシブルジョイント | <ul style="list-style-type: none"> ステンレス製ベローズ形 合成ゴム製 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8 吹出口・吸込口 | <ul style="list-style-type: none"> 棒及びスリットの材質は 鋼板製 アルミニウム製 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 防煙・防火ダンパー | <ul style="list-style-type: none"> 防煙ダンパー (SD) 防火ダンパー (FD) 防煙防火ダンパー (SFD) 防煙ダンパーは 電気式 空気式 ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 手元式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 風道 | <ul style="list-style-type: none"> グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト 高圧1ダクト 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (共板工法 スライドオンフランジ工法 アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に 空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 冷温水管の空気抜 | <ul style="list-style-type: none"> 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ※ 機器表特記による。 空気調和機等又はフィルターチャンバーの装着枚数の () %を予備品 (特付) として納める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 予備品等 | <ul style="list-style-type: none"> 低圧ダクト (スパイラルダクト コーナーボルト工法 (共板 スライド) アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は (図示した位置 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト 外気取入れダクト) とする。 空気調和設備の当該項目による。 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統 空気調和設備の当該項目による。 下記ダクトの保温を行う。 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) (厨房・湯沸室) のダクト (仕様はh・(イ)・Vとし範囲は図示による。) OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 福山市工事区分表 | | | | | | | 区分 | | | | | | | 区分 | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|---|----|----|----|---|---|----|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 区分は設計図書に明記なき限り、※印のついたものを適用する。 2. 複数の区分が適用となる場合は、関連工事別に施工する。 | | | | | | | 項目 | | | | | | | 項目 | | | | | | | | | |
| 分類 | 項目 | 区分 | | | | | 分類 | 項目 | 区分 | | | | | 分類 | 項目 | 区分 | | | | | | | |
| | | 建 | 電 | 給 | 空 | ガ | | | 昇 | 建 | 電 | 給 | 空 | | | ガ | 昇 | 建 | 電 | 給 | 空 | ガ | 昇 |
| | | 築 | 気 | 排水 | 調 | ス | 降 | | | 築 | 気 | 排水 | 調 | ス | 降 | | | 築 | 電 | 給 | 空 | ガ | 昇 |
| 1 設備基礎 | 1. 建物内の機器類の基礎 | | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 2. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 3. 建物外部の機器類の基礎 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 4. 同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み設置、架台の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 5. 外灯基礎の製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 1. 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 2. 鉄骨造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 3. 設備機器類の取付け用下地補強 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 1. 地中梁の連通管、通気管及び人通孔の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 2. 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 3. S、SRC造梁貫通鋼管スリーブの製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| | 4. RC造梁貫通スリーブの製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | |
| 5. 同上開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 6. 床や壁の貫通、半貫通部分のスリーブ、箱等の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 7. 同上開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 8. 各貫通穴あけ箇所の空隙充填及び補修 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 9. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 4 躯体以外の貫通・開口 | 1. 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | | ※ | ※ | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴う開口及び開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 現場製作の床、間仕切り壁類、天井の補強を伴わない開口 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. 間仕切り壁開口部の空隙充填及び補修 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. ブロック、れんがへの設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 6. ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、取付け枠の製作、設置及び開口補強 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 7. 床や壁の石材面の設備機器取付け用開口 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 8. 防火区画、排煙区画床、壁貫通部処理 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 5 点検口・ガラリ | 1. 床、壁及び天井の点検口の製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 外壁ガラリのチャンバーの製作及び設置 | ※ | ※ | | ※ | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 内壁等に取りつく吹出口、吸込口の製作及び設置 | ※ | | | | ※ | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. 同上化粧用特殊ガラリの製作及び設置 | ※ | | | | ※ | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. 各室建具ガラリの製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 1. 流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | ※ | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 同上給排水管及び排水金物の接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 同上フードへのダクト接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. 洗面化粧台の製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. 同上給排水管接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 6. 同上陶製洗面器の設置（一体型を除く） | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 7. ユニットバス・ユニットシャワー類の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 8. 同上給排水管接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 9. 同上ダクト接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 10. 同上一次側電気配管配線 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 11. オストメイト対応トイレバック（既製品） （汚物流し・シャワー・電気温水器・ライニング含む） | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 12. 同上給排水管接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 13. 同上一次側電気配管配線 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 14. 電気湯沸器、電気温水器、電磁ヒーターの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 15. 同上一次側電気配管配線 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 16. 既製化粧鏡の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 17. 特注化粧鏡の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 18. 大便器等水平区画の防火区画の製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 19. 手すり | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 20. ベビーチェア | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 21. ペーパーホルダー | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 22. 洗濯機パン | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 23. 同上給排水管接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 24. 洗面器・衛生陶器の設置及び給排水管接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 9 ビット・マンホール・水槽等 | 1. 湧水槽、蓄熱槽等のRC造躯体、断熱層、内外の防水及び仕上げ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 同上マンホール蓋及びタラップの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 屋内の排水溝、配管ビット、配線ビットの内外の防水及び仕上げ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. 同上付属蓋類及びタラップの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. 同上内設備配管類の架台の製作及び設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 6. 屋内マンホールのRC造躯体、錆蓋及び化粧蓋の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 7. 屋外マンホールのRC造躯体、錆蓋の設置 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 8. 屋外マンホールの化粧蓋の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 9. 同上化粧蓋の仕上げ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 10. 浄化槽設備のRC造躯体、内外防水及び仕上げ | ※ | | | | | | ※ | ※ | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 11. 同上用マンホール蓋及びタラップの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 12. FRP製浄化槽等の設置（RC造躯体は除く） | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 13. 排水槽、浄化槽等の内外装置の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 14. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 15. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 16. 同上電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | | |
| 10 電気設備等 | 1. 自家発電設備用オイルタンク、サービスタンクの製作・設置及び油配管工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 同上用防油堤RC造躯体及び仕上げ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 自家発電設備用一次側給排水配管工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. 自家発電運転用給排気設備工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. 機器類付属制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 6. 自動制御などの現場盤への電源接続 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 7. 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 11 空調・換気設備等 | 1. 一般換気扇（壁付型を含む）の設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 同上用の取付け枠の製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 同上電気配管配線工事（スイッチ含む） | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 6. 空調機器のスイッチの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 7. 同上二次側電気配管工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 8. 同上二次側電気配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 9. 同上一次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 10. 防火（煙）ダンパーの製作及び設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 11. 同上一次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| 12 消火設備等 | 1. 消火栓ボックスの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 2. 同上起動押釦、表示灯、電話の設置及び電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 3. 消火ポンプ起動制御盤の設置及び二次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 4. 同上一次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 5. 排煙窓手動開放装置のリミットスイッチの設置 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 6. 同上一次側電気配管配線工事 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |
| | 7. ガス漏れ警報設備 | ※ | | | | | | ※ | | | | | | ※ | | | | | | | | | |



福山市教育委員会施設課
2025年 5月

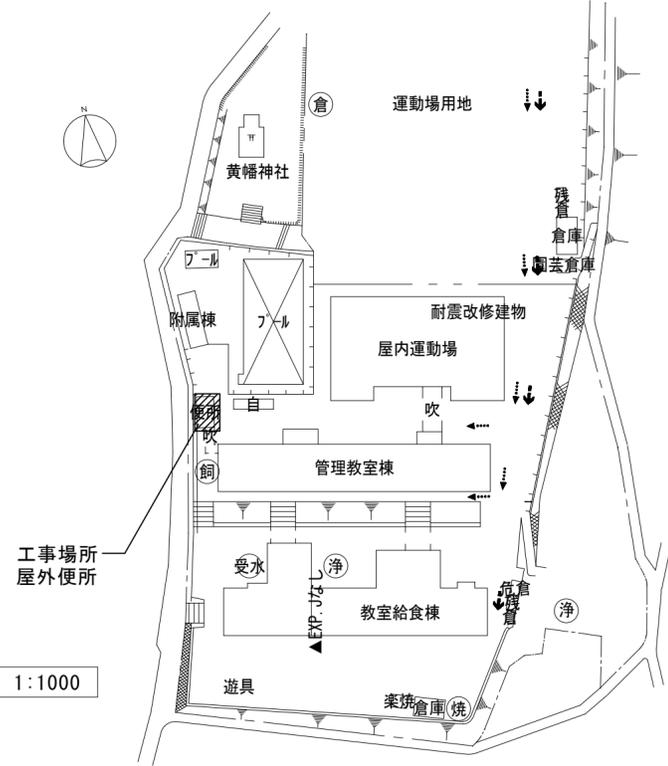
工事名称
福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事
図面名称
工事区分表

新設機器リスト

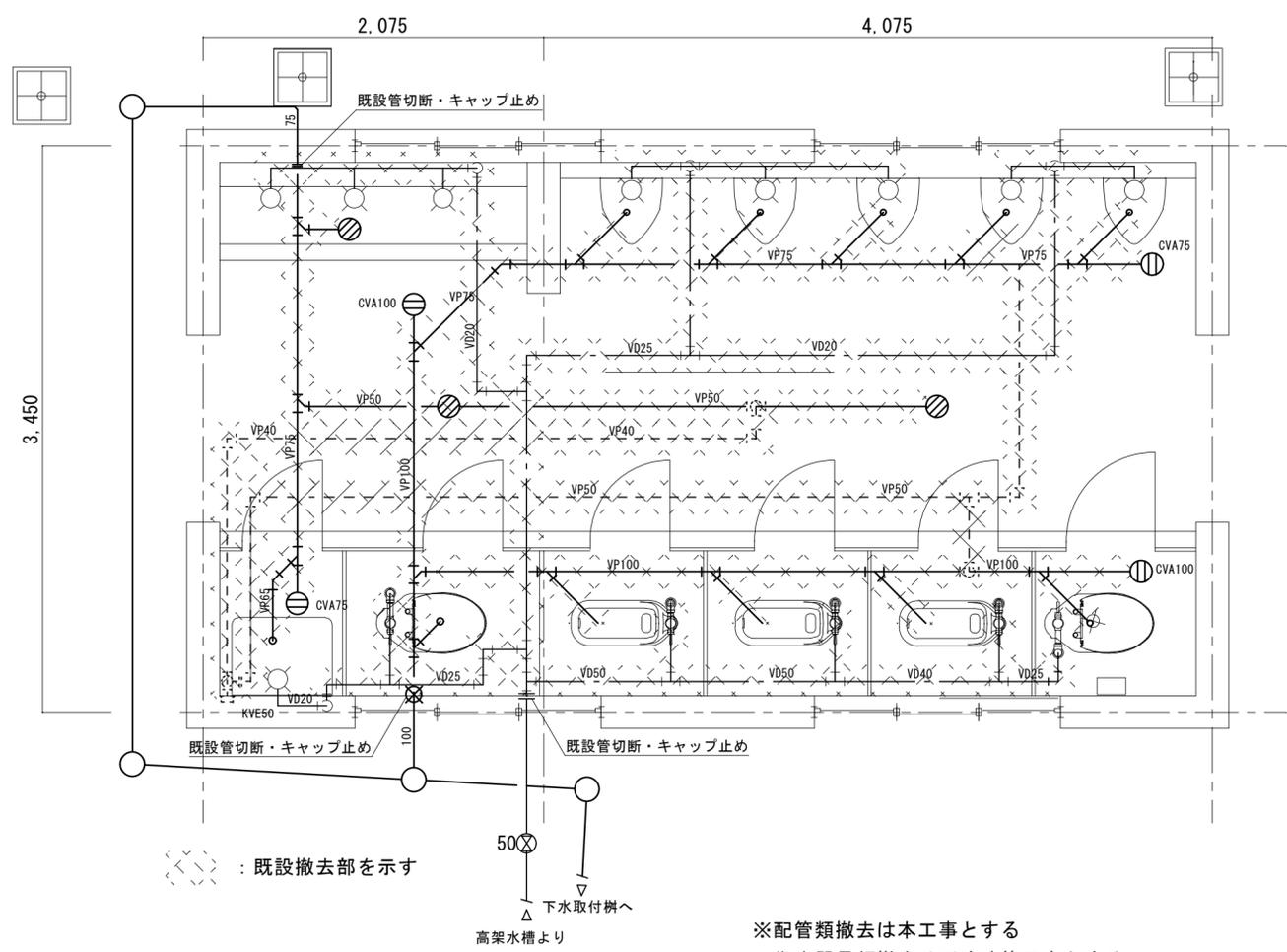
| 器具番号 | 名称 | 仕様(参考品番) | 数量 | 備考 |
|------|---------------|----------------------------------|----|----------|
| L-1 | 洋便器 (暖房便座) | CFS494NHNS, TCF116, YH51R | 4 | 取付用付属品含む |
| L-2 | 壁掛小便器 | UFH500, TG600PN | 3 | 取付用付属品含む |
| L-3 | 壁掛手洗器 | L210CM, TL19AR, TLDP2105 | 2 | 取付用付属品含む |
| L-4 | 化粧鏡 | YM3045A | 2 | |
| L-5 | 掃除流し | SK322, T23AEQ20C, TN114, T37S6EP | 2 | 取付用付属品含む |

新設配管凡例

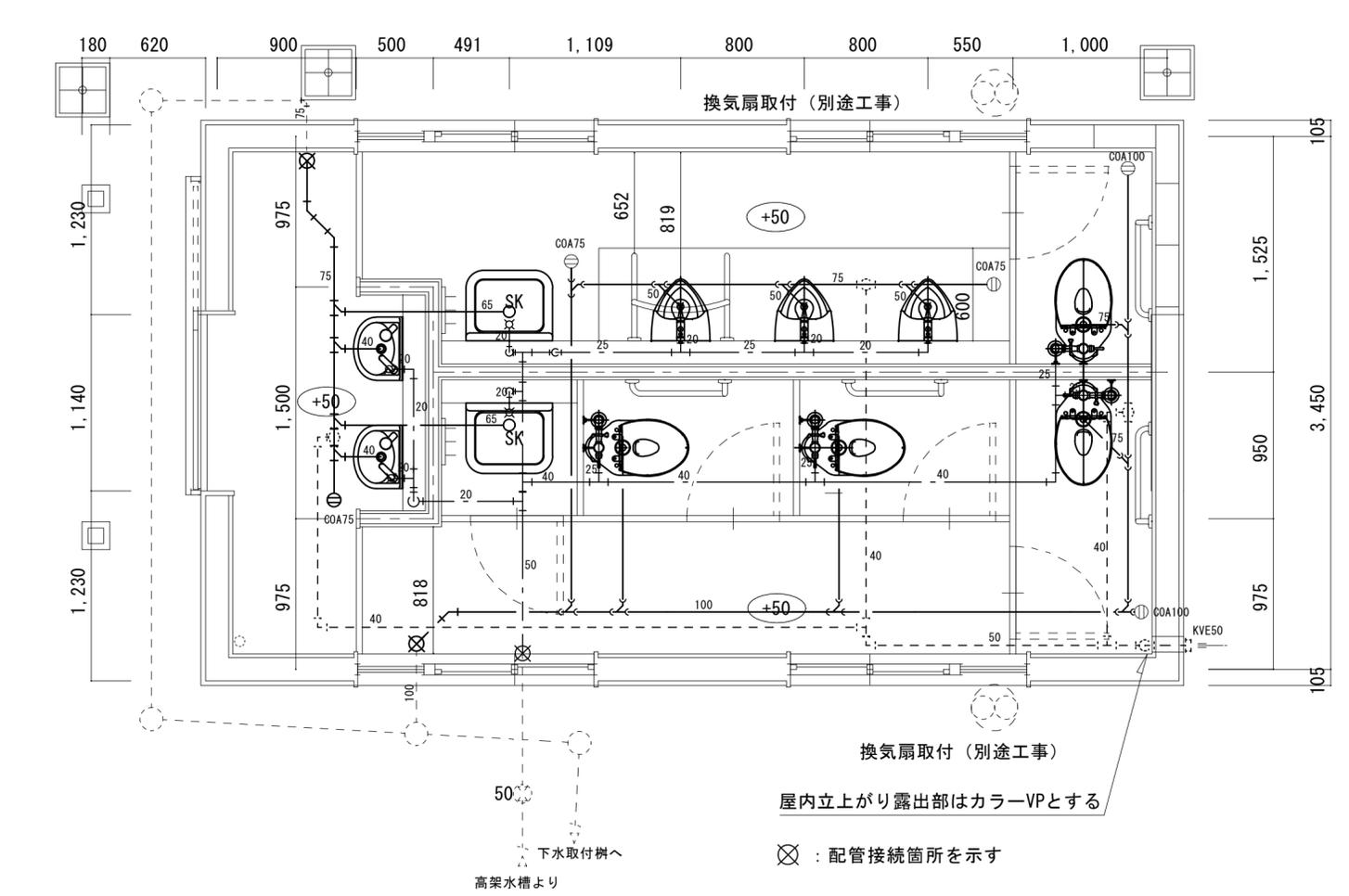
| 記号 | 名称 | 施工場所 | 管種 | 備考 |
|-----|------|-----------|-------------------------|------------------------------|
| ——— | 給水管 | 屋内(便所内)配管 | 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) | JIS K 6742 (5インチ内GW保温) |
| ——— | 汚水管 | 屋内(便所内)配管 | 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | JIS K 6741-11 |
| ——— | 雑排水管 | 屋内(便所内)配管 | 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | JIS K 6741-11 |
| ——— | 通気管 | 屋内(便所内)配管 | 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) | JIS K 6741-11 (露出部はカラーVP) |



配置図 1:1000



改修前
平面図 1:30



改修後
平面図 1:30

| | | | | |
|------|--------------------------|-----------------------|----------|--------|
| 工事名 | 福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事 | 福山市教育委員会事務局管理部施設課 | 2025年 5月 | 図面 No. |
| 図面名称 | 配置図・平面詳細図 | 主務 係員 次長 課長補佐 施設課長 部長 | 4 | 4 |
| 縮尺 | 1:1000 1:30 | | | |

参考数量書

§ 工事名称 福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市神村町 3 3 6 9 番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立神村小学校屋外便所改修給排水衛生設備工事

工事場所 福山市神村町 3 3 6 9 番地

【工事概要】
衛生器具設備工事 ~ 一式
給水設備工事 ~ 一式
排水設備工事 ~ 一式
撤去工事 ~ 一式

<別途工事>
建築工事 ~ 一式
電気設備工事 ~ 一式

| 機械設備工事 | | 排水設備工事 | | 排水設備工事 | | |
|-----------------------------|---------------|--------|----|--------|----|----|
| 名称 | 摘要 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 40A | 1 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 50A | 1 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 65A | 2 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 75A | 10 | m | | | |
| 排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 100A | 8 | m | | | |
| 通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 40A | 8 | m | | | |
| 通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修 | 機械室・便所 50A | 2 | m | | | |
| 通気・硬質ポリ塩化ビニル管(加-VP)改修 | 機械室・便所 50A | 3 | m | | | |
| 通気弁 | 50A | 1 | 個 | | | |
| 床上掃除口 取付(COA) | 80A | 3 | 個 | | | |
| 床上掃除口 取付(COA) | 100A | 2 | 個 | | | |
| 機械はつり(パイプバンド・カッターによる配管用貫通口) | 200mm程度 100mm | 1 | か所 | | | |
| 既設管接続 | VP 50 保温無 | 2 | か所 | | | |
| 既設管接続 | VP 100 保温無 | 2 | か所 | | | |
| 根切り(人力) | | 8 | m3 | | | |
| 埋戻し | 人力 根切り土 | 8 | m3 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

